

唐津市



# 議会だより

第41号(平成26年5月1日)



おしゃのぼり  
ゴールデンウィーク期間中の武者幟  
(呼子地区)

4月中旬から、6月第一土・日曜日の呼子大綱引き  
までの期間設置されている

## 目次

- ・平成26年度唐津市一般会計当初予算… P 2
- ・議案質疑 …………… P 3～P 4
- ・審査報告 …………… P 5～P 6
- ・一般質問 …………… P 7～P14
- ・平成25年度3月補正予算の経済対策事業… P14
- ・意見書(要旨)………… P15
- ・分科会現地調査・編集後記 …………… P16

◎ 発行：唐津市議会

◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会

☎ 72-9162 FAX 75-1515

(☎ 847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)





# 平成26年度 唐津市一般会計当初予算 598億9,737万4千円を可決しました!



経済対策につながる予算だよ。

主な事業は次のとおり  
でござる。

## 【総務費】 52億7,608万8千円

- ・ホームページ管理費 2,035万6千円
- ・ICTスマートタウン推進事業費 337万2千円
- ・離島活性化交付金事業費 866万4千円
- ・離島観光待合所整備事業費 981万3千円
- ・ふるさと集落活性化事業費 2,078万2千円
- ・生活路線バス等運行補助金 9,604万6千円
- ・古窯の里整備事業費 1,004万8千円

## 【民生費】 196億4,280万2千円

- ・臨時福祉給付金給付事業費 3億6,006万5千円
- ・障害福祉サービス費 20億1,194万3千円
- ・障害者支援の拠点施設等整備費 2億2,861万6千円
- ・老人保護措置費 5億2,211万1千円
- ・子どもの医療費助成費 2億5,842万3千円
- ・放課後児童健全育成事業等対策費 2億2,367万7千円
- ・児童手当 23億3,671万円
- ・保育所運営費 30億5,256万6千円
- ・扶助費 32億6,431万1千円

## 【衛生費】 59億1,725万2千円

- ・がん検診事業費 1億4,029万3千円
- ・予防接種費 3億1,978万3千円
- ・離島診療所運営費 1億4,990万2千円
- ・空き家等対策事業費 325万6千円
- ・資源物収集費 1,832万9千円

## 【農林水産業費】 38億8,717万6千円

- ・さが園芸農業者育成対策事業補助金 1億5,244万7千円
- ・かんきつ貯蔵施設整備補助金 6,109万2千円
- ・人・農地プラン推進事業費 5,476万8千円
- ・猪等駆除事業費 2,387万4千円
- ・中山間地域等直接支払事業費 3億5,049万3千円
- ・施設園芸用燃油高騰緊急対策事業補助金 901万4千円
- ・農地・水保全管理支払交付金 9,345万2千円
- ・小水力発電施設導入事業費 1,040万3千円
- ・高性能林業機械整備事業補助金 2,219万円
- ・漁業用燃油高騰緊急対策事業補助金 1,756万1千円
- ・離島漁業再生支援交付金事業費 3,402万8千円
- ・水産埠頭地区加工処理施設他整備事業補助金 1億89万円
- ・唐津水産業活性化支援事業費 1億2,197万5千円

## 【商工費】 28億8,263万円

- ・賑わいのまちづくり推進事業費 2,146万2千円
- ・地域商業活性化事業補助金 2,238万3千円
- ・コスメティック産業推進事業費 3,150万7千円
- ・東アジア観光プロモーション事業費 918万4千円
- ・波戸岬周辺施設管理費 8,613万3千円
- ・観光文化施設管理費 2億3,960万7千円
- ・旧大島邸建物等復原整備費 7億339万7千円

## 【土木費】 48億7,042万円

- ・道路新設改良費 6億8,121万5千円
- ・唐津城石垣再築整備I期事業費 1億2,400万円
- ・北城内児童公園多目的トイレ整備事業費 820万円
- ・舞鶴海浜公園園路整備事業費 1,884万9千円
- ・市営住宅給水管改良工事費 2,145万5千円
- ・鏡住宅整備費 3億1,141万7千円
- ・美帆が丘市営住宅整備調査費 635万6千円

## 【消防費】 26億5,357万4千円

- ・消防施設・設備整備費 2億4,447万8千円
- ・防災情報ネットワーク整備費 3億5,529万5千円
- ・離島備蓄品等整備費 5,980万2千円
- ・中部分署建設費 1億5,716万円

## 【教育費】 51億6,241万9千円

- ・特別支援教育費 9,229万6千円
- ・相知小学校校舎大規模改造事業費 1億9,011万5千円
- ・浜玉中学校改築事業費 2億6,587万1千円
- ・相知中学校校舎大規模改造事業費 1,668万8千円
- ・肥前中学校校舎大規模改造事業費 1億7,572万3千円
- ・湊中学校屋内運動場改築事業費 1,699万6千円
- ・公民館類似施設整備補助金 2,352万8千円
- ・キャスルベイ唐津ヨット世界選手権開催費 880万円
- ・新給食センター整備事業費 3,265万5千円

## 【主な特別会計等】

- ・国民健康保険 166億1,102万2千円
- ・介護保険 122億7,677万8千円
- ・簡易水道 13億1,476万円
- ・下水道 62億5,989万3千円
- ・有線テレビ事業 5億5,313万1千円
- ・水道事業 55億244万1千円
- ・モーターボート競走事業 336億6,855万9千円

私たちの暮らしに直結  
した予算です。

3月補正予算で32億6,915万円が補正されました。これは主に国の経済対策によるもので、農業基盤整備や道路改良、小中学校の耐震化や改築費に使われます。



## 議案質疑

提出された67件の議案に対して各会派から21名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

### 議案第2号 平成26年度唐津市一般会計予算

#### 1. 財政一般について

**質疑** 平成26年度は合併から10年の節目の年度。予算全体の考え方は。

**答弁** 唐津市財政計画を指針とし、経常経費等の更なる削減を図りながら「NEXT STAGE 唐津7つの約束」に沿った施策事業を重点に市民の満足度を高める予算編成に努めた。唐津市財政計画では、①都市規模にあった財政運営、②経常経費の削減、施策・投資的経費の選択と集中、③純借り入れ残高の漸減を3つの柱とし、目標を定め財政規模を600億円以下にするなど財政計画の基本計画に沿ったものとしている。

#### 2. 総務費「社会保障・税番号制度導入事務費」……942万円

**質疑** この事業内容と現在使われている住基コードとの違いは。

**答弁** 社会保障税番号について、昨年5月、番号の利用に関する法律というものが成立した。

個人には12ケタ、法人には13ケタの番号を付番することになり、複数の機関に存在する個々の情報を同一の情報と識別確認することにより、社会保障や税制度の効率性、透明性を高め国民にとっても利便性の高い公平、公正な社会を実現することを目的とした制度である。

住基コードは、官公庁のみで利用され、個人や民間で利用するということはない。今回導入される個人番号を通知された企業や官公庁は個人から番号の告知を受けて目に見える番号として民間でも利用される点が大きく異なる点である。

**質疑** カード式になるということだが、今後のセキュリティ対策は。

**答弁** カードそのものに情報を入れるというよりも、そのカードに記された個人番号に対して情報が付随していくという形になる。

セキュリティは国が保障し実施するものであり国の信用性にある。

**質疑** 利便性として、どのように良くなるのか。

**答弁** 現段階では電子的な証明書として利用できる。具体的には、転入手続の際その番号さえ出せば転入手続ができ転出証明書がいらなくなることや、住民票及び所得証明書等の提出も場合によっては省けることとなる。

#### 3. 総務費「がんばる地域応援補助金」……1,700万円

**質疑** この事業の目的と大規模集客ソフト事業への支援のこれまでの実績、効果は。

**答弁** この事業は、新たに取り組みられるまちづくり活動を支援するもの。コミュニティ活動の拠点施設の整備に対しても助成を行い、地域住民自らが行う活動を支援し、地域の活性化を図るもの。ソフト事業に関し平成25年度は、大規模集客事業に対しての補助金を拡大し、要件は市内外から500名以上の集客を見込まれる事業とした。その実績は、①復港みなとまつり、②城内ふれあい事業、③海辺のミュージアム創出プロジェクトの3件。効果は、世代間、地域間、そして同じ地域内においても、これまで関わりの少なかった住民間の交流を促進することができた。その他、地域が持つ魅力の再発見や活用方法等を模索することができ、新たな人材の発掘や交流から生まれるコミュニティの醸成や、地域の魅力を活かしたソーシャルビジネスへの展開の可能性が持てた。

#### 4. 教育費「歴史民俗資料館保存整備事業費」……720万4千円

質 疑 保存検討委員会での協議内容は。

答 弁 現在の場所では景観の悪さや駐車場の確保が困難なため、それを確保できる東港に移築をすることにより、港のランドマークとしての機能や館内で唐津港の歴史を紹介するなど、まちづくりに活かしたいという意見が多数を占めた。

質 疑 平成26年度の移築調査の具体的内容は。

答 弁 文化財的な価値を損なわない移築のための地盤調査、風などの自然環境調査、活用のための景観調査、集客のシミュレーション調査などを実施し問題点を検討。

質 疑 移築の判断の時期と今後のスケジュールは。

答 弁 事業計画は、平成26年度に移築場所の調査、平成27・28年度に解体しながらの調査実施設計、その後に復原工事に着工する予定。ただし、移築の決定は、移築場所の調査後に行う。

#### 議案第39号 新市建設計画の変更について

質 疑 合併特例債の限度額を80%から100%への計画変更で、増額できる額はどの程度になるのか。また、事業はどのようなものに充てるのか。

答 弁 借入額ベースで125億2千万円の増額となる。今後想定される事業は、地域医療センターエリア事業、旧大島邸復原整備事業、給食センター整備事業、市庁舎建設事業ほか、元々計画にあった小中学校の大規模改修事業や道路新設改良事業なども対象となる。

質 疑 合併特例措置がなくなった、平成33年度の財政規模はどのくらいか。また、財政運営についての考え方は。

答 弁 財政運営の基本的な考え方は変わらない。  
市町村合併という特殊状況下で、必要となったインフラ整備が落ち着いた以上は、都市規模、歳入規模に見合った歳出規模に抑えるべき。しかし、施策的経費については地域経済の下支えの観点から、一定規模を確保していく必要があり、平成33年度の予算規模は、平成32年度549億円（財政計画表より）を少し下回ると見込んでいる。

質 疑 支所のあり方に関する中間報告書で、「広範囲の業務に対応できる小規模多機能型の組織とする」とあるが具体的には。

答 弁 公共施設の必要性、あり方等に関する方針をまとめる必要があり、財政計画との整合を図りながら、公共施設の適正な配置や長寿命化、例えば、公民館や社会福祉協議会など、複数の機能を併せ持つ、各地域のスタイルに合った施設を検討していきたいと考えている。

#### 議案第67号 唐津市部設置条例の一部を改正する条例制定について

質 疑 国際局を新設する議案だが、どのような経緯・検討で提出になったのか。

答 弁 現在、コスメティック産業関連、ゴム物流推進などの国際関係は別々の部署で担当をしている。しかし国際情勢の変化の中で、今後は唐津市と交流のある都市双方が経済的に発展をしていかなければならない。したがって将来的には単独の部署の新設も視野に入れながら事業内容に関係が深い、農林水産商工部としていた。しかし、国際情勢の変化に即応し、より柔軟に、よりスムーズに、そしてスピーディーに事業を推進するために、市長直下の組織として整備すべきと判断した。



# 3月定例会 予算等特別委員会 審査報告



付帯意見とは、議決された事件に関して、付随的につけられる施行についての意見や要望のこと。法的拘束力を有するものではないが、尊重することが求められる。

## 総務教育分科会

◎ホームページ管理費  
質問】今回、リニューアルの予算が計上されている。どのように変わるのか。  
答弁】タブレット、スマートフォンに対応。動画、地図情報にも対応出来るようになる。

質問】気を付けている点は。  
答弁】市内向け、市外向けの情報を入口から整理する。職員が適宜適切に更新出来るホームページにしておく。

◎防災情報ネットワーク整備費  
質問】戸別受信機の考え方は。  
答弁】原子力発電所より10キロ圏内の地区を対象として、該当地区内は全ての家に配備する。

質問】訓練においての活用は。  
答弁】Jアラートの試験放送で年一回使用し、戸別受信機の不備はその時確認。

◎地域防災力向上促進事業費  
質問】自主防災組織の組織率向上についての対応は。  
答弁】防災リーダーの育成講習会や、自治会単位での防災会の立ち上げを働きかける。

質問】消防団との連携は。  
答弁】連携は不可欠。支団長会議などで相談していく。

◎唐津焼美術館構想策定費  
質問】基本構想の状況は。  
答弁】コンセプトとして「五感で味わう唐津焼」が提示された。

質問】既存施設を利用する可能性は。  
答弁】美術館は、博物館法による建物となる。建設に向け、市民、庁内関係部署での検討委員会をつくり検討する。

◎新給食センター整備事業費  
質問】市全体での給食センターについての方針は。  
答弁】まずは、東部地区4ヶ所を統合。市内で最終2ヶ所のセンターへ集約も考慮。

質問】1ラインで何食を賄えるのか。  
答弁】1ラインで1000食を賄う。また、ラインごとに献立を変える事も可能。

質問】各納入業者への対応は。  
答弁】納入組合から引き続き納入出来る仕組みを検討する。

(付帯意見) 新給食センター整備については、市全体の供給計画に基づき整備に努め、過大な施設整備とならないよう慎重な対応を求める。さらに、食材等の納入に際しても、市内業者の育成及び経済効果を考慮のうえ、システムの構築に努められるよう強く要望した。

◎議案第67号、唐津市部設置条例の一部を改正する条例制定について  
質問】国際局を新設する理由は。  
答弁】国際交流を担う組織を確立したい。また、国際局の名前を前面に交流を深めたい。将来は、国際政策を含め部設置の考えもある。

質問】国際産業とは。  
答弁】JCC、GRAMなど、経済産業を担う部分と考える。

《現地調査》  
・防火水槽工事費(厳木町本山)  
・新給食センター整備事業費(相知町相知)

・社会教育施設耐震化事業費(牟田部地区公民館)  
・指揮車更新費(消防署)

◎唐津市モーターボート競走事業会計予算  
質問】現時点での収益状況は。  
答弁】今現在の収益は5億6千万円位。最終調整次第では6億円位と考えている。

◎旧大島邸建物等復原整備費(継続費初年度分)  
質問】一般会計からの繰出金はいくらになるのか。  
答弁】平成26年度から平成28年度見込みで4018万円。

質問】アクセスの考え方は。  
答弁】旧大島邸の進入口は、南北を考えている。南側は、南城内駐車場からとし、北側は、新しく進入路を予定している。

◎賑わいのまちづくり推進事業費  
質問】タウンマネージャーに対する委託の考え方は。  
答弁】まちづくり会社を紹介して雇用しているが本来の業務の性質上、どのような形での雇用形態がいいのかを検討し決めた。

質問】市で直接委託はできないのか。  
答弁】直接市が業務を委託する場合は委託料という形ができる。十分検討し、一番効率があつて、本来の業務が遂行しやすいような形をとっていく。

《現地調査》  
・唐津水産加工団地(海岸通)  
・水産業活性化支援センター(相賀)  
・波戸岬(鎮西町波戸)  
・藤ノ平ダム(玄海町長倉)  
・駄竹漁港(肥前町駄竹)



唐津水産加工団地

## 都市整備分科会

### ◎道路照明管理費

【質問】事業の内容と街路灯LED化対応について。

【答弁】道路照明灯の維持管理や各地区が設置する防犯灯の設置補助を行い、明るいまちづくりを構築する。事業内容は老朽化した街路灯をLEDへの更新費用3113万円、防犯灯設置補助金480万円。

### ◎景観まちづくり推進費

【質問】事業の内容は。

【答弁】城内地区並びに市内の曳山通りの両地区について、景観形成のガイドラインについて検討委員会を開催し、検討する。

### ◎衣干山コミュニティ公園整備事業費

【質問】整備事業の内容は。

【答弁】火葬場が撤去された後は、ニタ子地区の方を中心にグラウンドゴルフ等で日常使われている。隣接している下段のため池までの土地は市有地で、唐津赤十字病院建設工事の残土処理場として、盛り土工事が行われた。今回の予算で、その場所の排水路整備を予定している。

### ◎老朽危険空き家等除却促進事業費

【質問】事業の内容は。

【答弁】老朽化し危険な空き家の除却を行うおとす際に資力不足など経済的な理由で除却出来



赤木橋

ない所有者に対し、その除却費用の一部を補助するもの。その対象は、住民税非課税世帯とする。

### ◎平成25年度補正予算

【質問】年度をまたいでの工期発注分の消費税対応は。

【答弁】10月以降発注工事の内、平成25年度内に終了する工事は5%。平成26年4月以降に繰越しをする工事を発生する場合は8%での発注となる。

### 《現地調査》

- ・市営住宅建替用地（鎮西町横竹）
- ・赤木橋（鎮西町赤木）
- ・衣干山コミュニティ公園予定地（ニタ子）
- ・唐津城（東城内）

## 市民厚生分科会

### ◎介護施設スプリンクラー整備補助金

【質問】設置の義務付けの要件と対象外への設置は。

【答弁】要介護度が高い人が入所する施設は、平成27年度から原則として義務付けられる。

### ◎社会保障税番号制度導入事務費

【質問】内容と導入の時期は。

【答弁】市民の利便性向上と行政事務の効率化を図るもので、平成27年10月に全員に個人番号を付番する。

【質問】情報漏洩のセキュリティはかかるのか。

【答弁】番号を知り得たから全ての情報が見れるものではない。セキュリティをかけ、見れる範囲を限定する。情報漏洩はマイナンバー導入と直接の関係はない。国がサーバーの管理をするので現在より安定度は上がる。

### ◎臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金

【質問】対象者と支給額は。

【答弁】福祉給付金は2万9千人で3億6千万円、子育て給付金は1万5千人で1億5千万円となっている。

【質問】支給時期は。

【答弁】申請時期は早くて7月くらいと思う。



唐津赤十字病院建設予定地

### ◎唐津赤十字病院事業補助

【質問】増設事業補助はいつまで出すのか。

【答弁】新病院完成の平成28年度まで。

【質問】本体工事が入札不調との事だが、今後再入札は行われるのか。今後、市の負担増はあるのか。

【答弁】再入札は行われる。落札金額増加でも市の負担増はない。

### 《現地調査》

- ・南部衛生処理センター（相知町相知）
- ・唐津赤十字病院建設予定地（長谷）
- ・人権ふれあいセンター（八幡町）

## 議会を傍聴してみませんか

3月定例会の傍聴者は、本会議 延べ7名でした。次回の市議会定例会は6月に開かれる予定です。車椅子専用の傍聴席(2席)も整備されています。



## 一

## 般

## 質

## 問

3月定例会の一般質問は、3月13日～18日の4日間で行われ、22名の議員が登壇しました。

### 市民の声を代弁する一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。

質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。



浦田 関夫  
日本共産党  
唐津市議員

玄海原発事故に備えた住民安全と市政のあり方について

**質問** 福島原発の事故からの教訓は。

**部長** 災害弱者の方が避難体制が整わない中で避難により、多くの方が避難途中で亡くなった。避難の車が一齐に避難し大渋滞となった。避難情報が的確に示されず混乱した。

**質問** 原発事故防災計画は十分か。

**部長** 福島事故の教訓から一定のレベルに達していると判断している。ただ、現計画が万全というものではなくこれから実効性を高める努力を続けていく。

**質問** 再稼働と防災計画はリンクさせるべきだ。

**部長** 再稼働と防災計画はリンクしないと考える。

**質問** 消防団員などの被ばくガイドラインは。

**部長** 防災業務関係者は50ミリシーベルト。緊急作業の場合は、実効線量

で100ミリシーベルト。公民館を中心にした地域づくりについて

**質問** 竹木場公民館が移転し、竹木場分園と切り離されることについて。

**部長** 地域の交流を図るためには、できれば公民館のそばにあった方がいい。

**質問** 上場農業の将来について

**質問** 上場の農家は、土地改良の負担金が重くのしかかっている。

**部長** 平成24年度は1億4247万円の滞納。

**質問** 何らかの軽減策を講ずべきだ。

**部長** 平成24年まで国県から15億456万円を投入し、償還期間の短期を平成36年から30年に短縮された。



山中 真二  
清風会

命の尊さと心の教育・生きる力の育成について

**質問** 心の教育・生きる力の育成についての教育方針は。

**教育長** 心の教育においては道徳教育を柱にして教育活動全般を通して推進する。

**質問** 幼児教育における取り組みについては。

**教育長** 遊びを通して満足感や一方で挫折感を味わうことも生きる力を育むためには必要。また、発達障害等の幼児については早期に発見が大切であり、保健福祉部と連携し相談体制構築に努めている。

**質問** 障がい者の就労環境については。

**部長** 企業に対する障がい者雇用の理解と促進に取り組み、関係機関・団体等と連携し支援の充実を図っている。

**質問** 家庭や職場におけるメンタルヘルスは。

**部長** 市民の皆さんにも自殺予防や心の健康に関

心を示していただき、ゲートキーパーを増やして、地域全体で取り組む。

**質問** 水産業の振興について

**質問** 水産業の全般的な振興については。

**市長** 環境保全や漁場環境の回復に努め、魚介類の種苗の断続的な放流や新知識や技術の導入をし、水産資源の維持増大を図り、漁業経営の安定化を目指していく。

**質問** 地元出身の有名人を活用した観光施策について

**部長** 地域における歴史性や全国的に知名度のある素材を活用したイベントなどで集客と観光消費に取り組み。



避難する入所者を支援する職員



大浦浜漁港のカキ小屋



宮崎千鶴 (公明党)

男女共生社会に向けてについて

**質問** 女性が政策決定の場に出てくるような地域の意識啓発をしてほしい。  
**部長** 更なる取り組みをしていく。

**公共施設のトイレの整備について**

**質問** 観光唐津を標榜するなら、公共トイレの現状を調査し、UD化も含めて進めてほしい。  
**部長** 進めていく。

**質問** 鏡山展望台がリニューアルされたが近くのトイレが完成してないのはなぜか。汲み取り式トイレは撤去すべきでは。

**部長** 合併浄化槽をとりつける予定であったが、品不足で遅れている。6月頃設置予定。その後、撤去する。

**学校教育について**

**質問** 教育基本法の改正により、土曜授業に方向転換していくようだが、教育委員会の取り組みと考へ方は。  
**教育長** 教育委員で協議



近代図書館前のトイレ

していく。

**質問** 大分県豊後高田市では「学びの21世紀塾」として、学校が週5日制になった2002年から土曜授業の取り組みをしている。県内23市中、22位だったのが、2006年からは、8年連続1位。校長は「市長の『本気になればすべてが変わる』を合言葉に、行政も学校現場も本気になって取り組んだ。その熱意がこどもたちにも伝わったのではないか」と。この取り組みをどう考えるか。

**教育長** 豊後高田市の取り組みを勉強したい。

**質問** 日本人のがんの死亡率が非常に高い。学校教育の中ががん教育を取り入れるべきでは。

**教育長** 中学校で病気の予防を学んでいる。できる限り取り組みたい。



吉村慎一郎 (清風会)

**学校教育について**

**質問** 「学力向上」とよく言われているが、そもそも「学力」とは何か。

**部長** 知識や技能の学習習慣を付け、問題解決の能力などを学ぶ力。

**質問** 熱意のある教職員をどう育てようとしてされているのか。

**部長** 教育愛を持ち使命感の溢れる教師、さらに専門的指導力を有する教師を育成したい。

**質問** 唐津東中(県立中)の設置に伴う唐津市のメリット、デメリットは。

**部長** 小学生や保護者にとっても将来の進路を小学生的時から考えるきっかけとなった。リーダー格の子どもが県立中へ流出し、新たなリーダー育成が必要になった。

**農政転換について**

**質問** 農地中間管理機構(農地集積バンク)の概要は。

**部長** 信頼できる農地の中間的受け皿があると、



瓜ヶ坂(肥前町)棚田

人・農地問題の解決を進めやすくなることから整備することとなった。

**質問** 農地中間管理機構に対する市町や農業委員会の役割は。

**部長** 機構と市が委託契約を結ぶ際に決定することとなる。

**質問** 日本型直接支払制度の全体像は。

**部長** 多面的機能支払・中山間地域等直接支払・環境保全型農業直接支払等がある。

**質問** 交付金の交付ルートは。

**部長** 新制度は、国から直接交付が廃止され、県協議会からの交付に一本化される。

**質問** WCS米(発酵粗飼料用稲)を除く飼料用米の取り組みは。

**部長** 現段階では直ちに取り組み状況にない。



山下正雄 (志政会)

**公共施設のあり方について**

**質問** 閉校後の学校跡地の教育委員会での検討は。

**部長** 跡地検討委員会で検討しているが、具体的な活用案が少ない。市長部局と協議が必要と考える。

**質問** 支所のあり方に關する中間報告書では支所以外の機能を含む複合施設との考えもあり、地域を変える。住民への説明は大変な仕事であるが。

**部長** これから取り組む。

**質問** 公共施設の改修・修繕・再編は膨大な費用と負荷がかかる。新市計画変更、財政計画や総合計画の策定の前にする作業がある。計画性が必要。

**部長** 基礎資料の整備、方向性の一元化を目指し組織を創設する。

**中小企業・小規模事業者地域経済振興基本条例制定について**

**質問** 新エネルギー導入構想やコスメティックパラー構想において地場企業の育成に具体的政策で



他市の基本条例

取り組むべきでは。  
**部長** 業界団体等と協議や勉強会をしている。

**質問** 大規模給食センターが予定されているが、小規模事業者が排除されるのでは。

**部長** システムを考える。

**質問** 地方に自律的な循環型経済を構築し、地域活性化に果たす小規模事業者の役割は大きい。市政での小規模事業者の位置づけを明確にし支援する法規的根拠がある。条例制定が必要であるが。

**部長** 事例を研究する。

**スポーツ観光について**

**質問** 10マイルロードレースは応援しづらい。

**部長** 交通事情がある。

**質問** 気軽に参加できるファミリーマラソンの復活を検討したら。

**部長** 関係機関と協議し幅広く検討を行う。





中川 幸次  
(公明党)

地域包括ケアシステムの構築について

**質問** 「地域包括ケアシステム」の意味は。

**部長** 在宅で介護予防に取り組み、要介護状態になっても、医療や介護、生活支援が受けられる体制のこと。

**質問** 本市における高齢者・要介護者数の推計は。

**部長** 老年人口のピークは平成32年の3万5877人、要介護者数は現在が6528人で、平成32年には、6723人になると推計され、以後平成42年まで横ばい。

**質問** 第5期介護保険事業計画の進捗状況は。

**部長** 介護サービスの基盤整備は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は計画数3に対し1ヶ所整備、通所介護と訪問看護を組み合わせた複合型サービスは計画数3に対し1ヶ所整備したが、計画達成はできていない。  
**質問** 達成できていない原因は。



**部長** 24時間体制のサービスを行うにはスタッフの確保が必要で、小規模の事業者では難しいため  
**質問** 第6期介護保険事業計画策定に向けたニーズ調査等の取り組みは。  
**部長** 昨年11月に高齢者要望等実態調査を2887人に実施。この結果を基に、27年度から3年間の事業計画を策定する。  
**質問** 医療と介護との連携が重要となるが、看護師等人材の確保は。  
**部長** 平成27年度からの国の在宅医療の推進や介護サービスの充実のための支援制度を活用する。  
**質問** 平成27年4月から訪問・通所介護は市の事業となるが、方針は。また、事業者への委託は。  
**部長** サービスの低下にならず、また、事業者等への委託も検討する。



大西 康之  
(志政会)

道路整備について

**質問** 事故が多発している赤川交差点改良についてスケジュールは。

**部長** 旭ヶ丘交差点までを、平成27年～29年に改良工事を行う。  
**質問** 大口口西の浜線、南北の動線確保の為に。

**部長** 交差点改良が現実的である。  
**質問** 改良工事の時期は。

**部長** 平成27年度。観光「からつ」について

**質問** 国、県の観光予算獲得の為に。

**部長** 国、県はインバウンド対策を推進。財政部局とも連携し努力している。WTO環境整備など。

**質問** 観光文化スポーツ部の目指す姿は。

**部長** スポーツと文化も観光資源との視線を持ち総合的な観光施策を進める。目的を共有することで、効果を広げて行く。

**質問** 観光施設と文化施設を管理されているが、部内であるので施設管理の一本化は出来ないのか。



改良が望まれる交差点(南城内)

**部長** 厳密な整理を行わずスタートした。連携不足の感がある。無駄が生じていれば検討する。  
**質問** 観光は交流人口増加が目的の一つである。地域振興事業との違いは。

**部長** 観光を通じての地域振興は、唐津において大切である。  
**質問** 観光と地域振興イベントの整理が必要では。

**部長** 国内で競争力を高める為に、それが唐津の為になるのが整理したい。観光でやる場合は、大きくPRして行きたい。

**質問** ブランド戦略の中の観光はどのように。  
**部長** 観光課で煮詰め共有する。双方での相乗効果を狙う。産品、観光、新産業が、ブランドでまとまっていこうと、フィードバックしながら、ぼやけない様進めたい。



井本 敏男  
(志政会)

再生可能エネルギーの取組について

**質問** 唐津市のエネルギー政策の基本的な考えと方向性を示して欲しい。

**部長** 雇用の創出、地域経済の活性化等に努めると共に、国のエネルギー政策を基本に現実的でパランスの取れた需給構造を構築する。

**質問** 唐津市の年間電力需要はどれくらいか。

**部長** 平成23年度は、市内全域で約72万メガワットアワーの電力が消費されている。

**質問** この消費電力を太陽光発電と風力発電でそれぞれ賄うとすれば、設置箇所はどれくらいか。

**部長** 太陽光発電でカバーすると、2メガワットで315カ所、1500kWの風力発電で240基以上が必要となる。

**質問** 自主防災組織づくりについて

**質問** 唐津市の自主防災組織の現状は。  
**部長** 現在の認定団体数は



建設中のメガソーラー

は17組織となっており、世帯数による設置率は約11%である。  
**質問** 市は自主防災組織設置促進のためにどのような指導をしているか。

**部長** 設立を希望する地域への説明や出前講座及び駐在員等への防災講座を実施している。

**質問** 組織設置が進まない現状の課題は。  
**部長** 住民自身の意識の高揚の難しさがあるのではないか。自らが必要性を認識することが大事。

**質問** 糸島市は100%に近い設置率と聞かす。  
**部長** 糸島市の事例を参考に唐津市の設置率が高くなるよう努力する。



中村 健一  
(志政会)

中山間直接支払制度の法制化について

**質問** 本制度の法制化は、**部長** 平成26年度は、予算措置として実施される。平成27年度からは、所要の法整備を行った上で、法律に基づく措置として、日本型直接支払制度に移行される。

固定資産税について

**質問** 固定資産の税額は、**部長** 平成24年度決算において、市税約120億円のうち、土地・家屋・償却資産に係る税額合計で、約55億円になる。

**質問** 近年の収納率は、**部長** 平成23年度決算で96%。平成24年が97%。

**質問** 税額の算出方法は、**部長** 登記人名義毎に名寄せし、土地・家屋・償却資産の課税標準額合計に、税率1.4%を乗じた金額が税額となる。

**質問** 土地、家屋を所有しても免税になる場合は、**部長** 課税標準となる額が土地30万円未満、家屋20万円未満、償却資産150

万円未満は免税となる。**質問** 土地の評価方法は、**部長** 状況類似地区と標準宅地を設定し、鑑定士による評価での路線価格を基に、評価額を決定。宅地以外の田、畑等の地目毎評価は、合併前の評価額を参考にしている。**質問** 太陽光発電施設などの評価は、**部長** 基本的に標準宅地の7割で評価するが、土地の造成状況で異なる。**質問** 家屋の評価方法は、**部長** 新築、増築の物件は、家屋実施調査のうえ再建築評価方式により評価する。改築は外観からの把握が困難であり、改築の評価は行っていない。**質問** 評価の変更は、**部長** 毎年度、特に下落が予想される土地140地点を鑑定評価し、時点修正で対応している。



登記簿と土地家屋名寄帳



白水 敬一  
(公明党)

後退道路用地（セツトバック部分）の整備について

**質問** 建築申請の際、セツトバックを要した件数と寄附はどれくらいか。**部長** ここ5年間で291件あるのに対し、寄附は12件しかない。**質問** 公道路の確保の為にセツトバック部分を寄附することにより市の方で分筆所有権登記や境界杭舗装等の整備をする方向で早急に整備すべきだ。**部長** 後退道路用地の協力を得られるような周知に努め、建築申請時に申請者と寄附の協議ができるよう体制を構築する。

**質問** がん予防推進について

**質問** 唐津市のがんの死亡率はどれくらいか。**部長** 23年度は465人が死亡し、死亡率は国県の平均を上回っている。**質問** がん検診率は、**部長** 胃がん15%、肺がん22%、大腸がん21%、前立腺がん23%、乳がん25%、子宮がん44%だ。

**質問** がん検診個別受診推奨制度（コール・リコール制度）が国の制度としてスタートした。内容として市の取組みは、**部長** がんの無料クーポンを配布し受診勧奨をする。受診しなかった方へは再度クーポンを配布し電話や検診案内を郵送で個別受診を推奨する事業。唐津市では8月から実施。**質問** 今後の受診率の目標と具体的な対策は、**部長** 胃がん・肺がん・大腸がんは40%、子宮頸がん・乳がんは50%が目標。コール・リコール制度の実施や休日検診女性の日の設定、職場でのがん検診の促進をしていきたい。

＜その他の質問＞  
◎消費税増税に伴う対策について



榑崎 三千夫  
(清風会)

均衡ある発展について

**質問** 自治体給付と市民給付の2通りがある。**部長** 給付の金額は、**部長** 市民給付には家庭に年4812円、事業所には1kWの給付につき、2000円の給付がある。**質問** 立地町と隣接地の旧唐津、呼子、鎮西、肥前には適応されるが市内他の地域には適応されず、均衡ある発展になっていない。東日本大震災以降、UPZの見直しで30キロ圏内に唐津全地域が入っている。平成18年に唐津市議会として、意見書を提出しているが進展は、**市長** 震災から3年が経過し、国の制度として問題については認識している。九州地方電源地域連絡協議会で検討し、全国の関係自治体と共に国に強く要望していきたい。**質問** 企業立地支援事業は対象地域の見直しがあるが、

**部長** 新規企業で3名以上の雇用が条件。平成25年3月で終了している。地域資源を活かし本物を目指したまちづくりについて

**質問** チップボイラー使用のなな湯の状況は、**部長** 近年の燃油高騰で20年稼働出来れば、5千万円の削減となる。**質問** 唐津市の地域資源である木材を使ったチップ工場を地元で建設し、チップボイラーの普及に努めてはどうか。**部長** 市には国民宿舎等公共施設も多くある。需要と供給のバランスも考えながら対応したい。**質問** 地元産材利用の取り組みの状況は、**部長** 学校、市営住宅等公共施設や、県のクリーク防災工事の枕木・板材等で取り組んでいる。



なな湯のチップボイラー





馬場 幸年  
(志政会)

これからの農業及び農業政策について

**質問** コメの生産調整の見直しの概要について。

**部長** 従来の生産数量配分による「行政主導型」から生産者の経営の自由度を拡大する「生産者自立型」の生産調整へと大きく転換する。従来の生産数量目標の配分は平成29年産までで平成30年産以降は生産者や集荷業者・農業団体等、生産現場が一体となって需要に応じた生産に取り組むことが求められる。

**質問** 今回の見直しについて、説明会での農家の反応は。  
**部長** 飼料用米の取り組みについての質問はあったが、生産調整に関しての質問は特になかった。地域の伝統文化について  
**質問** 文化財として指定、未指定の伝統芸能の数は。  
**部長** 文化財の種類では、無形民俗文化財に相当し、国指定が「唐津くんちの曳山行事」「呼子の大綱

引き」の2件、県指定が「広瀬浮立」の1件、市指定が「浜崎祇園祭」「天川浮立」他8件、未指定が「猪ノ子綱引き」など18件。合計29件。

**質問** これら伝統芸能の記録保存は。

**部長** 「唐津くんちの曳山行事」「呼子大綱引き」厳木町「広瀬浮立」など10件を映像記録化している。その他の伝統芸能についても音声や映像を収集・記録し、次世代へとつなげる重要な資料として保存していきたい。

**質問** イベント等での発表や披露の場が必要では。  
**部長** 地元保存団体の負担と感ずる場合もあるので、団体と協議をしながら情報発信や地域の産業祭・文化祭への参加依頼など伝統芸能を知ってもらうためにも検討したい。



神田カブカブ獅子



伊藤 泰彦  
(清風会)

唐津市民病院きたはたについて

**質問** 入院患者数減少に対する対策は。

**部長** 平成24年に地域医療連携室に、専属の医療ソーシャル・ワーカーを配置、他医療機関や施設と連携をし、紹介患者数及び入院患者数の増加を図っていく。

**質問** 外来の土曜診療を実施しては。

**部長** 外来のサービスの充実を図るためにも、病院関係者と協議し前向きに検討したい。  
**質問** 手術室の利用状況は。

**部長** 平成20年以降一度も実施していない。  
**質問** 今後の手術実施予定は。

**部長** 担当医師・コストの面からも、唐津赤十字病院や済生会唐津病院にお願いすることになる。  
**質問** 病院機能評価の取得について。  
**部長** 病院の信頼と納得を得られる医療サービス

を提供するためにも、取得に向けて努力する。ごみの資源化について  
**質問** 下水道バイオマス事業の今後の活用で、メタンガス発生時に生ごみを活用すれば今後どのような効果があるか。

**部長** ガス発電事業に活用でき、生ごみの投入は下水道汚泥処理の効率化になりメタン発酵の安定化などに効果がある。  
**質問** 今後、民間企業の活用についてはどう考えているか。

**部長** 民間の技術力・経営能力など民間を活用した方が効果的なものについては、民間を積極的に活用したい。  
**質問** 今後の、生ごみの資源化について。

**部長** ごみの減量化を図り、生ごみの資源化を市としても推進する。



唐津市民病院きたはた



水上 勝義  
(志政会)

自治会の財産保全について

**質問** 自治会が保有する山林や公園などの不動産登記のため、地縁団体の認可が必要だが、市での認可団体数と組織率は。

**部長** 地縁団体は121団体で33・4%である。  
**質問** 地縁団体の申請に必要な要件と書類は。  
**部長** 4つの要件と6種類の書類が必要である。特に規約、構成員の名簿資産目録、総会の議事録などすべての認可要件を満たして認可する。

**質問** 相続人の把握と所有権移転の同意を得ることが、相当困難だと思いが国の動向は。  
**部長** 全国市長会から国に対し「認可地縁団体の不動産登記事務の改善に関する要望書」が提出されている。国会の地方自治法改正案手続きを簡素化する方向で進んでいる。

河川・農業用水路の保全について  
**質問** 農業用の河川、施設の堆積土砂の浚渫が問題であり、農業者の減少と高齢化が進む中で施設の管理状況は。

**部長** 市で管理する準用河川と雨水幹線については計画的に浚渫など管理している。農業者が管理するため池・332カ所上場開発の沈砂池518カ所、農業用水路については、農業者にて管理している。

**質問** 市で管理する河川に流れ込む、規模の大きい水路や沈砂池の泥上げは地元でできる規模でないかと考えるが。  
**部長** 規模の大きな河川機能を持つ施設、沈砂池の現状を調査し地元の意見を聞き調整を図りたい。



水路に堆積した土砂



志 佐 治 徳  
(日本共産党 唐津市議団)

ラジオ放送の難聴問題について

**質問** 山間部では、昼間AMラジオが入るが、夜になると聞こえない。これでは防災にも役に立たない。

**部長** 要因は、夜間上空に電離層ができて電波を反射するため混信する。NHKでは、市内に難聴指定地区はないという回答です。

**質問** 夜間になるとNHK第1、第2が聞こえない。テレビの行政放送が届かない世帯が市内に1割。目の不自由な人はFMを聞いておられる。

NHKのFMは音楽が中心で、夜間、野球や語学番組が聞けない。万一の災害で電力が切れるとテレビは映らない。そうした時にラジオが役に立つ。FMで第1、第2放送を聞こえるように取り組みしてもらいたい。

**部長** 災害時に有効な伝達手段であることが東日本大震災時に実証されて

いる。FM放送への転換の件につきNHKと協議を続けてまいりたい。委員会等の議事録について

**質問** ホームページで教育委員会の議事録は骨子のみで、何がどう議論されて結果に至ったのか、さっぱり分からない。民主主義の原則は情報を的確に知らせることにある。

**部長** 今年4月以降開催の教育委員会分から議事録の全文掲載を計画している。

**質問** その他の委員会議事録の公開はどうなっているか。

**部長** 農業委員会が昨年9月から全文公開している。

＜その他の質問＞  
◎「いじめ」について



笹 山 茂 成  
(志政会)

東城内町田線について

**質問** 前も議会質問をしたがその後の進捗状況は。

**部長** 地権者へご挨拶に伺い事業協力をお願いし、国道204号タツチ部については警察と県と交差点の事前協議をした。

**質問** 東城内町田線の今後の取組は。

**部長** 唐津赤十字病院の開院にあわせた事業進捗を進めて行きたい。

**質問** 赤川交差点の右折信号機の改良は。

**部長** 警察と協議する。唐津港湾振興について

**質問** 東港のシンボル緑地と松原内散歩道は。

**部長** 緑地は全体計画の5.4haのうち2.5haの整備がすすんでいる。松原は植樹の時は密植して植えるが生育したら間引きをする。現在200本間引きして人が通れる。

**質問** 東海岸壁が出来上がり、クルーズ船やイベント海のカーニバルが開催時の駐車場の確保は。

**部長** 耐震岸壁背後の荷捌き地やヤード用地を臨時駐車場と考えている。

**質問** 水産埠頭地区の状況と水産物展示物や飲食コーナーなど撤退されたが水産会館の今後は。

**部長** 水産埠頭地区の4団体と協議を行っているが飲食コーナーは難しい。水産物展示は4月オープンに向けて準備する。

唐津市水産会館(しーまーと)



宮 崎 卓  
(清風会)

離島の振興(松島・加唐島)について

**質問** 沿岸漁業と松島の現状は。

**支所長** 松島では海士漁曳き網、遊漁船等が行われ若い漁業者が多く、特産品では「赤もく」が目ざされている。沿岸では草食漁の繁殖で磯焼けが発生している。

**質問** 磯焼け対策は。

**部長** バリやガンガゼなどの駆除やその加工品の開発が必要、また築磯や藻場育成、稚魚放流などをやっていく。

**質問** 離島の高齢者対策の現状は。

**部長** 予防対策として「離島生き生き元気づくり事業」を行っている。加唐島では10%しか利用していない。回数券の発行などで利用者増を図る。

の活用を図り、島民皆と話し合って今後の高齢者対策事業を考えて行く。九州オルシによる地域活性化について

**質問** 唐津コースの認定による地域活性化策は。

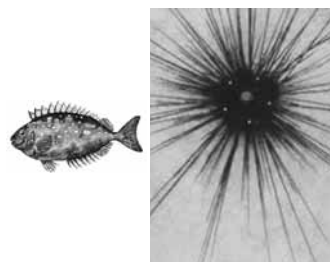
**部長** 濟州島では200万人が訪れ、バスタクシーなどの交通、宿泊など各方面に経済波及効果があつている。市でも各種イベントを絡めて行く。

**質問** 3ヶ月の効果は。

**部長** 570名が訪れた。冬場のお客増になった。観光協会との協力でパツク旅行開発や新しい魅力づくりに取り組んでいる。

**質問** 今後の対策は。

**支所長** 地域の盛り上げを図り住民説明会の実施、組織作り、地場産品の開発などを行って行く。



バリ(アイゴ) ガンガゼ





江里 孝男  
(志政会)

道路網について

【質問】唐津市の道路網についてどう考えているか。

【部長】国道、県道が網羅しており、バランスのとれた道路網となっている。

【質問】本山橋から岩屋駅間の歩道設置を早急に。

【部長】早期実現に向け、地元と一体となり要望していきたい。

【質問】下牟田部踏切の信号機設置を早急に。

【部長】事故もあり危険な所と認識している。

踏切の安全な往来を確保するため、今後も、関係機関と協議をしていく。

【質問】県道の未整備区間として横枕地区や尾部田地区、厳木町の下田地区、浦川内地区がある、早急に改良をお願いしたい。

【部長】安全確保を最重点として、今後も引き続き、県に要望をしていく。

【質問】市道の整備方針は

【部長】交通アクセスの向上、防災機能の向上、歩行者の安全確保等の観点から道路整備の優先度を

判断する。  
【質問】河川改修関連道路として岩屋本山線、鶴楠線、馬谷線がある早めの対応をしていただきたい。

【部長】国の動向を注視しながら時期を逸することなく効果的な改良ができるよう河川事務所とも密に協議をしていく。

【質問】新規採用職員について

【質問】新規採用職員の消防団加入は。

【部長】新規採用職員の17%が加入している。

【質問】新規採用職員の地元採用の割合は

【部長】平成26年度約67%である。

【質問】新規採用職員に対して2年間の消防団入団研修をしたらどうか。

【市長】平成26年度から研修項目に消防団研修を予定している。



厳木バイパス



平野 潤二  
(清風会)

教育問題について

【質問】学校再編の現状は。

【部長】平成25年まで小学校14校、中学校8校の実績がある。

【質問】通学区区域審議会の答申では早期の統合を答申されているが、早期統合した学校と、そうでない学校の不公平はなくすべきと考えるが。

【部長】審議会の答申どおり丁寧な説明をしながら進める。

【質問】青少年支援センターは今年6月までの統合の通知が変更されたと聞くが。

【部長】担当部長より当分の間の移動の必要はないと通知があった。

【質問】いつまでの移動が必要か。

【部長】現在早稲田関係者と協議している。定住促進と唐津活性化について

【質問】現在総合計画、新市計画が策定されているが、人口減少対策、定住政策を盛り込んでいるか。

【部長】論点データで人口激減が提言されている。定住政策を進めたい。

【質問】早稲田中高一貫校の評価と経済波及効果は。

【部長】早稲田ブランドで唐津のイメージが上がっている。経済効果は9億円と試算しているが、他にも効果を認識している。

【質問】唐津市は九州大学と協力協定を結んでいるがその成果は。

【部長】レンズ風車、水産業活性化、人材育成等の成果が出てきている。

【質問】九州大学の糸島市移転は唐津として絶好の好機と考える。通勤補助や、安価な住宅土地を用意して定住促進を図るべきと考えるが。

【市長】九大とは連携協定を結んでいるので積極的な情報収集をしていく。



早稲田佐賀中学高校



石崎 俊治  
(志政会)

教育について

【質問】電子黒板導入による教育面での効果は。

【教育長】動画や音声を通し臨場感ある授業ができ、子供達が顔を上げて授業に臨むようになった。

【質問】不登校への対策は。

【教育長】全職員で情報を共有し、早めに家庭訪問や教育相談を行っている。

【質問】道徳教育や郷土を愛する心への取り組みは。

【教育長】思いやりや生命の尊重など生徒の心に届く教育の実践や郷土に尽くした人々の本の配布等

【質問】教科書選定は、どこが最終決定するのか。

【教育長】共同採択地区協議会で選定したものを教育委員会が最終決定する。医療体制について

【質問】日赤の開院に向けてのスケジュールは。

【部長】着工は2〜3ヶ月遅れるが、開院は、平成28年5月予定。

【質問】市民病院北波多の位置づけは。

【部長】地域医療の拠点と

共に後方支援病院と位置付けられており、日赤などの医療連携は移転後も変わりなく継続する。

【質問】交差点付近での公安委員会の管理区分は。

【部長】横断歩道、停止線止まれの表示、自転車横断帯など。

【質問】道路の路面表示の補修等にも使用可能な交付金を要望すべきでは。

【部長】以前交付された、きめ細やかな交付金のよ

うな財源を積極的に国に要望していきたい。

【質問】道路の課題解決のための専門部署設置の検討結果は。

【部長】道路戦略室のようなものを設置する方向を内部で調整している。





井上 祐輔

(日本共産党)  
唐津市議団

**笑顔育む暮らしについて**

**質問** 子育てしやすい街にするために子どもの医療費助成制度の拡充を求める。他市では18歳まで助成するという自治体もあるが市の考えは。

**部長** 助成拡大の必要性も認識しているが、まずは需要の高い小学生の現物給付化に力を入れない。  
**質問** 現物給付にする場合の試算は。

**部長** 9130万円と試算している。

**質問** みなし寡婦控除の導入について

**部長** 市の方向性としては国が所得税法を改正するのが一番と考える。

**質問** 就学援助を利用する家庭が増加している。増税に伴う増額は。

**部長** 増額については検討中。

**質問** 生活保護引き下げの影響は。

**部長** 経済的理由により就学が困難と認められる場合は就学援助を行う。

**質問** 「子育て応援のま

ち唐津」を宣言しては。  
**部長** これまでも子育て施策を県内でも引っ張ってきた。今後も子育て支援充実に取り組むたい。

**交通弱者対策について**

**質問** 買い物難民対策として実施している「イドスク」の今後の展開は。

**部長** 現在1カ所での実施だが、同時に数カ所で行う手段を検討している。

**質問** コミュニティバスの導入について。

**部長** 行政・地域・事業者間で協議したい。

**質問** 市内循環バスの運行見直しについて。

**部長** 日赤病院の移転に伴い市内循環のみならず再編が必要と考える。また、買い物や病院利用などの利便性を向上した路線としたい。



古藤 豊志

(清風会)

**農業振興について**

**質問** 我が国の農業は、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など5年後、10年後の展望の描けない地域が増えている。JAからつの平成24年度の農畜産物の販売高は、約252億となっている。目標の333億円達成は。

**部長** 農産物の販路開拓のため東京や大阪などの大都市圏において、特産品のブランド化を積極的に行い、JAからつ等関係機関の協力のもと、更なる唐津市農産物のブランド化を進めて行きたい。

**質問** 唐津市の新規就農者の状況は。

**部長** 平成25年の新規就農者は31名で過去10年間で最も多い結果で施設利用型農業となっている。

**質問** 新規就農者を手助けする青年就農給付金は。

**部長** この事業は、準備型と経営開始型の2つの給付型で構成されている。いくつかの要件クリアが必要だが、経営開始型の

給付額は、個人就農者に年間150万円、夫婦就農者には225万円最長5年間給付される。オルレ唐津の観光戦略について

**質問** 九州オルレ唐津コース約11kmの維持管理は。

**部長** 九州オルレコースの認定自治体で構成する「九州オルレ認定地域協議会」において共通の課題として対策を検討する。

**質問** オルレコースとして「虹ノ松原、鏡山コース」の創設については。

**部長** 現時点では「虹ノ松原、鏡山コース」は第2次審査の課題解決に至ってなく次回申請は難しい。

虹ノ松原と玄海灘を眺望する絶景ポイントとして情報発信し、森林浴、旧唐津城下の散策といった形で、滞在型観光への活用を図りたい。



唐津オルレコースの名護屋城天守閣跡

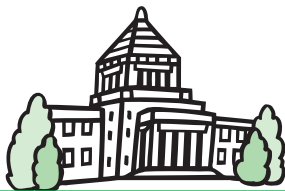
# 平成25年度 唐津市一般会計3月補正予算中 経済対策事業 30億4,236万6千円 可決!!

政府が12月に閣議決定した好循環実現のための経済対策。

4月からの消費税引き上げによるかけ込み需要と反動減を緩和するとともに、経済成長の底上げに向けた事業を実施。

地震、原子力災害等に対する事前防災・減災対策	11億2,253万8千円
社会資本等の点検・補修及び更新	1億4,513万9千円
生活空間の安全確保とインフラ等の整備促進	13億3,209万4千円
農林水産業等の活性化	4億4,259万5千円





市議会では、意見書として、権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

## TPP（環太平洋連携協定）交渉における国会決議を守る意見書

交渉が大詰めを迎えているとされる今もなお、交渉内容について十分な情報は開示されないままとなっている。

TPPは、食の安全、医療、保険、ISDなど、国民生活に直結する問題であり、国民に対する情報開示は必要不可欠であると考えます。

以上を踏まえ、TPPに関する衆参農林水産委員会決議を実現するとともに、TPP交渉に関する国民への情報開示を徹底するよう求めるものである。

## 農林水産業における燃油価格高騰緊急対策を求める意見書

原油高騰や円安基調による燃油価格の高止まりに終わりは見えず、また、農産物の輸入拡大による価格低迷により、今後の生産意欲の低下が危惧されるところである。特に、水産業界では、水産資源の減少、消費の伸び悩みによる魚価の低迷、後継者不足等依然として厳しい状況である。

については、かかる実情をご賢察するとともに、農林水産業に意欲をもって取り組む若い新後継者を育成するためにも、「燃油価格高騰緊急対策」による各種支援措置を強く求める。

## 2020年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書

- 1 各国代表選手の事前合宿の誘致、観光プログラムの実施などを通じて、日本全国に東京大会開催の効果が波及するよう努めること。
- 2 共生社会の観点からオリンピック・パラリンピック両大会の連携に配慮しつつ、パラリンピック選手の国際競争力向上を図るための専用トレーニングセンターを新設するとともに、競技に専念できる経済的支援、スポーツを科学的に支援する施設の地方拠点を設けること。
- 3 少子高齢化社会にある我が国が、大会開催を契機にスポーツの持つ多様な効果を活用し、子どもから高齢者まで生きがいの持てる社会を構築できるよう、特に自治体が進めるスポーツを活用した「まちづくりや地域づくり」に対し支援を行うこと。
- 4 現有施設を活用し、過大な施設整備とならないように配慮するとともに、ハード・ソフト両面にわたるバリアフリー環境の促進など、大会終了後も想定した我が国にとって真に必要な社会基盤整備を計画的に実施すること。

## その他の意見書

- ・最低賃金の引き上げを求める意見書
- ・食の安全・安心の確立を求める意見書
- ・微小粒子物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで確認できます。

## 分科会の現地調査

予算等特別委員会は、付託された議案等の中から、現地確認が必要な箇所を選定し調査しています。



衣千山コミュニティ  
公園予定地（ニタ子）

都市整備分科会



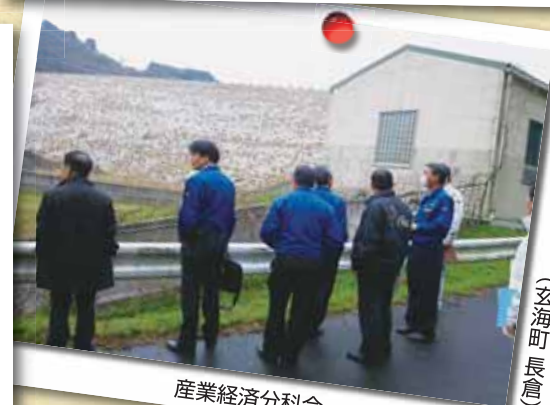
新給食センター建設予定地  
（相知町相知）

総務教育分科会



唐津南部衛生処理センター  
（相知町相知）

市民厚生分科会



藤ノ平タム

（玄海町長倉）

産業経済分科会

## 編集後記

市町村合併から10年目を迎える節目の平成26年度当初予算について、議案質疑及び一般質問が活発に行われました。その様な中で、経済対策や条例議案について議論され、当初予算約599億円が可決承認され3月議会が閉会いたしました。

『唐津市議会だより』発行につきましては、定例会終了後、ただちに編集委員会を開催し、編集作業が行われ、編集委員全員の努力により、原稿集めから編集作業まで短期間で終了させ発行することができました。

今後とも、市民のみなさまの身近な『唐津市議会だより』として発行いたしますので、ご意見など多数お寄せいただきますようお願いいたします。

## 唐津市議会が インターネットで視聴できます

### 【放送する議会】

定例会および臨時会、決算・予算等特別委員会

### 【視聴方法】

唐津市議会ホームページからご覧いただけます。

※録画配信については、会議終了後、概ね3日（土・日・祝日を除く）以内に配信を開始します。

### 【問い合わせ】

議会事務局 TEL 0955-72-9162

唐津市議会 インターネット中継

検索

## 「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- |       |      |     |       |
|-------|------|-----|-------|
| ・委員長  | 白水敬一 | ・委員 | 江里孝男  |
| ・副委員長 | 水上勝義 | ・委員 | 伊藤一之樹 |
| ・編集長  | 大西康之 | ・委員 | 富田幸樹  |
| ・委員   | 田中秀和 | ・委員 | 吉井村一  |
| ・委員   | 笹山茂成 | ・委員 | 井上祐輔  |
| ・委員   | 井上常憲 |     |       |